

令和 5 年度
勝連城跡の魅力向上・誘客強化事業

事業報告書

令和 6 年 3 月

目次

第1章 業務計画書の作成	3
業務計画書	

第2章 ナイトコンテンツ造成に向けた検討	19
---------------------------------------	-----------

- ① コンセプト
- ② ナイトコンテンツの造成方法
- ③ イベントの実施方針
- ④ 通常時とイベント時の運用の在り方

第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備	25
---	-----------

- ① 器具の選定
- ② 運用イメージ及び配置計画
- ③ 設置方法の検討
- ④ 整備
- ⑤ ナイトコンテンツ造成後の状況

第1章

業務計画書の作成



第 1 章 業務計画書の作成

業務計画書

業務に先立ち、業務計画書を作成し、業務の手順及び遂行に必要な事項を企画立案した。

令和 5 年度
勝連城跡の魅力向上・誘客強化事業

事業計画書

令和 5 年 8 月

第1章 業務計画書の作成

業務計画書

1 業務名

令和5年度 勝連城跡の魅力向上・誘客強化事業

2 業務の目的

うるま市における滞在型観光を促すためのナイトコンテンツ造成を通じて、勝連城跡の活用可能性及び来場者の受入環境強化に必要な機能等を把握するとともに、民間事業者にMICE開催等をはじめとする事業参画の動機付けとなる環境を構築し、うるま市を代表する観光施設としての魅力向上・誘客力強化に繋げることを目的に実施する。

3 履行期間

令和5年8月8日から令和6年3月22日まで

4 全体スケジュール

ナイトコンテンツ造成のスケジュールは、別紙「工事工程表」のとおりとする。
イベント・プロモーションのスケジュールは、別紙「イベント・プロモーション工程表」のとおりとする。

5 本業務の基本方針・実施内容

本業務の基本方針及び実施内容は、以下のとおりとする。

■本事業の基本方針

【基本方針1】本イベント目的の観光客がもりもり発生！

- ・うるま市でしか体験できない、勝連城跡でしか実現できないイベントを行い、本市を代表する観光施設としての魅力向上を図る。
- ・ブーム・流行にフットワークの軽い若者に刺さるコンテンツで、沖縄県内、さらには県外からも本イベント目当ての観光客がもりもり発生する仕掛けをつくる。

【基本方針2】地元事業者との連携による事業実施

- ・ナイトコンテンツ造成工事は、市内企業に依頼。
- ・イベントにも複数の地元企業に協力を依頼。

【基本方針3】うるま市民の満足度及び勝連城跡の価値向上

- ・ナイトコンテンツ造成をはじめとした新たな魅力を勝連城跡にプラスすることで、身近にある世界遺産への来訪機会を創出。
- ・うるま市民の参加を促すためのキャンペーンを展開。

第1章 業務計画書の作成

業務計画書

■実施内容

事業遂行のため、事業を①ナイトコンテンツ造成、②イベント開催、③プロモーションの3部門に分類し、それぞれの専門スキルを兼ね備えたスペシャリストと共に管理運営を実施。

①ナイトコンテンツ造成

あまわりパークの電気工事受託実績を有する地元事業者、屋外照明設備の豊富な実績を有する電機メーカーと共に勝連城跡のライトアップをプランニング。

②イベント開催

アウトドアサウナの第一人者と共に、最新のトレンドを取り入れつつ、サウナ未経験者も気軽に楽しめるイベントとなるようプランニング。

③プロモーション

公共発注事業の受託実績を持つ広告代理店と共に、費用対効果が高く、認知度拡大に繋がるプロモーション展開をプランニング。

○ナイトコンテンツ造成に向けた検討

ナイトコンテンツ造成に係る基本コンセプト、デザイン、対象範囲、イベントの実施方針等を整理・検討する。なお、対象施設における通常時とイベント時の運用の在り方についても検討すること。

■実施内容

勝連城跡をライトアップすることで、世界遺産「勝連城跡」の存在感を強調、魅力を向上するとともに夕方～夜間集客を可能にする。

【コンセプト】

“世界遺産「勝連城跡」に新しい魅力を。

受け継がれる歴史を学び、流れる星を眺めて、味わい深い夜を過ごす。”

勝連城跡入口（県道側）から見える石垣を中心にライトアップし、全体の輪郭を夜景に浮かび上がらせる。また、美しいうるまの星空と共に、来訪者が歴史や風情に思いを馳せる夜を過ごせるよう演出する。

【目的】

- ・遠方からでも視認できるようにすることで、勝連城跡の存在感を強調。
- ・あまわりパーク駐車場からの視認性アップで観光客の期待感を向上。
- ・石碑をライトアップし、文化財の認知拡大と撮影スポットを創出。
- ・電球色の暖かな光で幻想的な雰囲気を演出。

第1章 業務計画書の作成

業務計画書

○ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

ナイトコンテンツ造成に係る必要な器具の選定、運用イメージ及び配置計画の作成、設置方法の検討、整備（本業務に係る電源供給の検討及び改修を含む。）を行い、イベント開催との相乗効果を図る仕組みを構築する。器具の選定にあたっては、夜間における勝連城跡の魅力を最大限高め、かつ、導入後の維持管理費を極力抑えたものとする。導入する器具の配置計画及び整備にあたっては、周辺環境との調和を図りつつ、遠景から近景までの眺望景観を確保するとともに、市文化財課と密な調整を行い、遺構を傷付けることのないよう必要な対策を講じること。整備時期は、勝連城跡及びその周辺で予定している他の事業スケジュールを踏まえて発注者と協議の上、決定する。

■実施内容

あまわりパークの電気設備工事实績をもつ市内業者及び屋外照明の豊富な実績を有する電機メーカーと共にライトアップのプランニングを実施する（再委託）。

【造成手法】

造成手法は、別紙「ナイトコンテンツ造成企画書」のとおりとします。

【備考】

・導入器具

LEDioc FLOOD SPOLART 210Wタイプ 6台
LEDioc FLOOD NEO 80クラス広角タイプ 14台
LEDioc FLOOD NEO 60クラス超広角タイプ 4台
LEDioc FLOOD NEO 20クラス広角Wタイプ 2台

- ・勝連城跡入口ゲートから電源を供給する。
- ・四の曲輪城壁付近に自立型の分電盤を設置する。
- ・上記分電盤内にコンセント口を設け、各種イベントでの使用を可能とする。
- ・タイマー設置にて自動ON/OFF。イベント時は手動操作を可能とする。
- ・文化財への影響、他イベントへの汎用性を踏まえて仮設対応とする。
- ・電気配線及び照明器具の塗装色は、周辺の景観に配慮した色彩とする。

第1章 業務計画書の作成

業務計画書

○イベントの実施

勝連城跡の活用の幅を広げ、滞在型観光による来場者の満足度向上、民間事業者による勝連城跡の活用を促進するための夜間イベントを実施する。実施に際しては、イベントのスタートを記念した催し物を開催し、イベント期間中は来場者の安全を確保するための交通誘導員、夜間警備を実施すること。イベントの開催時期及び時間帯については、あまわりパークの運営事業者と協議の上、決定する。

①イベントの概要

「感動産業特区」の名に相応しい、世界遺産「勝連城跡」にしかできない、特別なイベントを開催し、来場者に感動体験を提供する。サウナの「ととのい」時に放心状態となることを利用することで、ライトアップされた勝連城跡と星空を眺める時間を楽しんでいただく夜間イベントとする。

■実施内容

【コンセプト】

“世界遺産「勝連城跡」に新しい魅力を。
受け継がれる歴史を学び、流れる星を眺めて、味わい深い夜を過ごす。”

火の神様が祀られ、神聖な井戸（カー）が存在している勝連城跡で、火と水を使用したアウトドアサウナイイベントを開催。

【キャッチコピー】

“世界遺産でととのう”

世界遺産の敷地内で、大パノラマの勝連城跡を眺めながら「ととのう」貴重な機会を最大限にアピールする。

②コンテンツ

県内外からの誘客を促すため、サウナ愛好家にも足を運んでもらえるクオリティとサウナに日頃から入る文化の少ない沖縄県民が抵抗なくイベントに参加できる気軽さを追求したコンテンツを展開する。

■実施内容

【コンテンツ1】大型テントサウナ 1張り

メインのサウナとして、大人数収容可能な大型テントサウナを設置。
20人以上収容可能なテント内でコミュニケーションを楽しめる空間にする。

【コンテンツ2】アウフグース

大型テントサウナ内にて、定時にてアウフグースを開催。
サウナ愛好家はもちろん、サウナ未経験者でも気軽にサウナを体験いただく。
アウフグースの内容及び時間は、イベント詳細を詰めていく段階で最終決定。

第1章 業務計画書の作成

業務計画書

【コンテンツ3】小型テントサウナ 4張り

最大収容人数6人の小型テントサウナを設置し、グループ対応可能な環境を整備。
また、アロマオイルを使用したセルフロウリュを楽しめる空間にする。

【コンテンツ4】水風呂プール 2面

水風呂の代用としてビニールプールを設置。

※勝連城跡内は水道設備がないため、水タンクを積んだトラックを敷地内に
乗り入れさせる。排水方法は、ホースを用いて既存の排水管へ流す。

【コンテンツ5】ととのいベンチ

日中は、勝連城跡及び中城湾港を眺める向きにベンチを設置。

夕方以降は、本イベントの主旨を実現するため、ベンチを全て勝連城跡の向
きに変更し、ライトアップされた勝連城跡と星空を眺められるようにする。

③催し物

イベントのスタートを記念した催し物として、イベント参加者の注目を集め
るナイトコンテンツ、ライトアップに注目させることを目的とする。

■実施内容

有名人（芸能人1人、男性を想定）を招致する。

【催し物の内容】

有名人（芸能人）と来場客にて、ライトアップのカウントダウンを実施。

通常時は、タイマー設定によりライトアップON/OFFになるところ、イベン
トの日は任意のタイミングでライトアップのON/OFF切り替えができるよう
手動操作に切り替える。

【有名人（芸能人）の詳細】

イベント日程決定後にキャスティングを実施。

④安全管理

イベント期間中の来場者の安全を確保するため、以下の取組を実施する。

■実施内容

【交通誘導員の配置】

イベント期間の営業時間内は、あまわりパークと勝連城跡入口ゲートを繋ぐ
横断歩道に交通誘導員1名を配置し、来場者の安全確保と交通誘導を実施す
る。

【夜間警備の実施】

イベント終了時刻までは勝連城跡敷地内に警備員を1名配置し、三の曲輪以
上に来場者が立ち入らないよう警備を実施する。

第1章 業務計画書の作成

業務計画書

【火気の取り扱い】

サウナで火気を取り扱うため、イベント開催前に所轄消防局への事前報告、イベント中の消火器の配置を実施する。

【イベント保険の適用】

万が一、イベント中に来場客の死亡・怪我が発生した際に対応すべく、イベント参加料にイベント保険料を組み込み、不測の事態に対応できる体制を整える。

⑤ イベントの開催時期・時間帯

あまわりパークの施設管理者と協議の上、決定する。

■実施内容

【開催時期】

樹木伐採・ナイトコンテンツ造成ライトアップ工事が完了していることを前提に、プロ野球のキャンプシーズンにあたる2月頃に開催する。

【開催日程】

3日間（金・土・日）の開催とし、あまわりパークの施設管理者と事前相談の上、決定する。
※金曜日は、夕方からの開催とする。

【開催時間】

あまわりパーク及び勝連城跡の通常営業時間（9時～18時）を考慮し、あまわりパークの運営事業者と相談の上、決定する。
開催時間（希望）：金曜日16:00-21:00、土曜日・日曜日11:00～21:00

⑥ 料金体系・割引

イベントの質を維持することと、イベント参加客増を目的として以下の料金体系とする。

■実施内容

【料金体系】

大人（16歳以上）4,000円 / 小人（15歳以下）2,000円

【割引】

沖縄県民割引：沖縄県民は住所確認書類提示で1,000円割引
SNS割引：イベントSNSアカウントをフォロー、情報発信で500円割引
※割引は併用可能（一人あたり最大1,500円割引）

【イベント売上の取扱い】

イベント売上は収益化せずに、イベントの質及び来場者の満足度向上に資する経費に全て充てる。

第1章 業務計画書の作成

業務計画書

○メディアプロモーション活動

イベント開催を広く周知するためのメディアプロモーション活動（首都圏告知、新聞・TV番組・ラジオ番組告知等）を実施する。実施にあたっては、幅広い年齢層にアプローチできるようプロモーション映像等の制作やSNS等を積極的に活用すること。

■実施内容

【首都圏告知の実施】

首都圏内（県外）への認知拡大を目的とし、新宿コパボウル、クロスボ八王子店にて、イベントポスター完成・納品次第、ポスター掲示にて告知を実施する。池袋HUMAXシネマズ、渋谷HUMAXシネマ、横須賀HUMAXシネマズ、成田HUMAXシネマズにて、イベント開催1ヵ月前よりポスター掲示にて告知を実施する。

【イベントSNS運用の実施】

県内外問わず認知拡大。サウナ愛好家へのアプローチを目的とし、X（旧Twitter）・Instagramにて、イベント専用アカウントを立ち上げ、運用する。

【WEB広告の実施】

若者を中心に沖縄県内への認知拡大、東京都のサウナ愛好家への認知拡大を目的とし、DSP広告を実施する。掲載期間は、イベント開催1ヵ月前～イベント終了までの予定（150万回表示見込み）。

【新聞広告・PR記事の実施】

ファミリー層、シニア層を中心に沖縄県内への認知拡大を目的とし、沖縄タイムスにて記事下3段・フルカラーでの広告をイベント開催1週間前に掲載する。イベントの様子を告知することで、勝連城跡の活用可能性の認知拡大、民間事業者によるMICE開催等をはじめとする事業参画の動機付けを目的とし、イベント当日に記者による体験取材を実施、イベント終了後にPR記事を掲載する。掲載時期は、イベント終了後1週間後を予定とする。広告・PR記事ともに、掲載日・ページの指定は不可。

【テレビ番組内告知の実施】

ファミリー・シニア層を中心に沖縄県内への認知拡大を目的とし、琉球放送のテレビ番組「Aランチ」内にて、60秒程度の生読告知をイベント開催1週間前に実施する。

【ラジオ番組内告知・イベント当日生放送の実施】

レンタカー利用の観光客及び沖縄県内への認知拡大を目的とし、RBCiラジオ番組内にて、60秒程度の生読み告知をイベント開催1週間前に実施する。イベント期間中の来場動機付けを目的とし、イベント当日にラジオカー・リポーター派遣による3～4分尺の生取材を2回実施する。告知・生放送ともに、番組の指定は不可。

【PR動画の作成】

勝連城跡の活用可能性の認知拡大、民間事業者によるMICE開催等をはじめとする事業参画の動機付けを目的とし、ライトアップ後の勝連城跡の情景、イベントの様子を収めたPR動画を作成する。

第1章 業務計画書の作成

業務計画書

○効果検証

ナイトコンテンツ造成に係る効果を検証（アンケート等）するとともに、勝連城跡の活用可能性及び来場者の受入環境強化に必要な機能等を把握し、今後の環境整備に向けたスケジュール及び概算事業費等を整理する。

■実施内容

【来場客へのアンケート実施】

選択形式の設問にて、勝連城跡・あまわりパークの施設や環境、さらにはイベント内容などから、印象に残った事柄を回答してもらうことで、顧客目線での施設としての魅力を浮彫にする。また、再来訪の可能性やその動機、機能のニーズ等の設問を設けることで、今後の環境整備の参考となる情報を整理する。

○業務打合せ・協議

打合せ協議は、業務着手時及び中間時、業務完了時の計3回を基本として実施する。業務遂行上、3回以上となっても変更の対象としない。

■実施内容

【業務打合せ・協議】

- ・ 8月10日 初回業務打合せ・協議
- ・ 10月頃 2回目業務打合せ・協議
- ・ イベント終了後 効果検証結果共有・成果物納品

上記の3回を実施する。

また、確認事項・進捗報告等はメールを主とし、必要に応じて追加の業務打合せ・協議を依頼させていただく。業務打合せ・協議は、リアル開催を基本とし、打合せ内容・社会状況などと照らし合わせ、場合によって一部の担当者はオンライン会議とさせていただく。

【勝連城跡・あまわりパーク現地確認・調査】

必要に応じ、現地確認・調査を実施する（要事前連絡）。

○その他

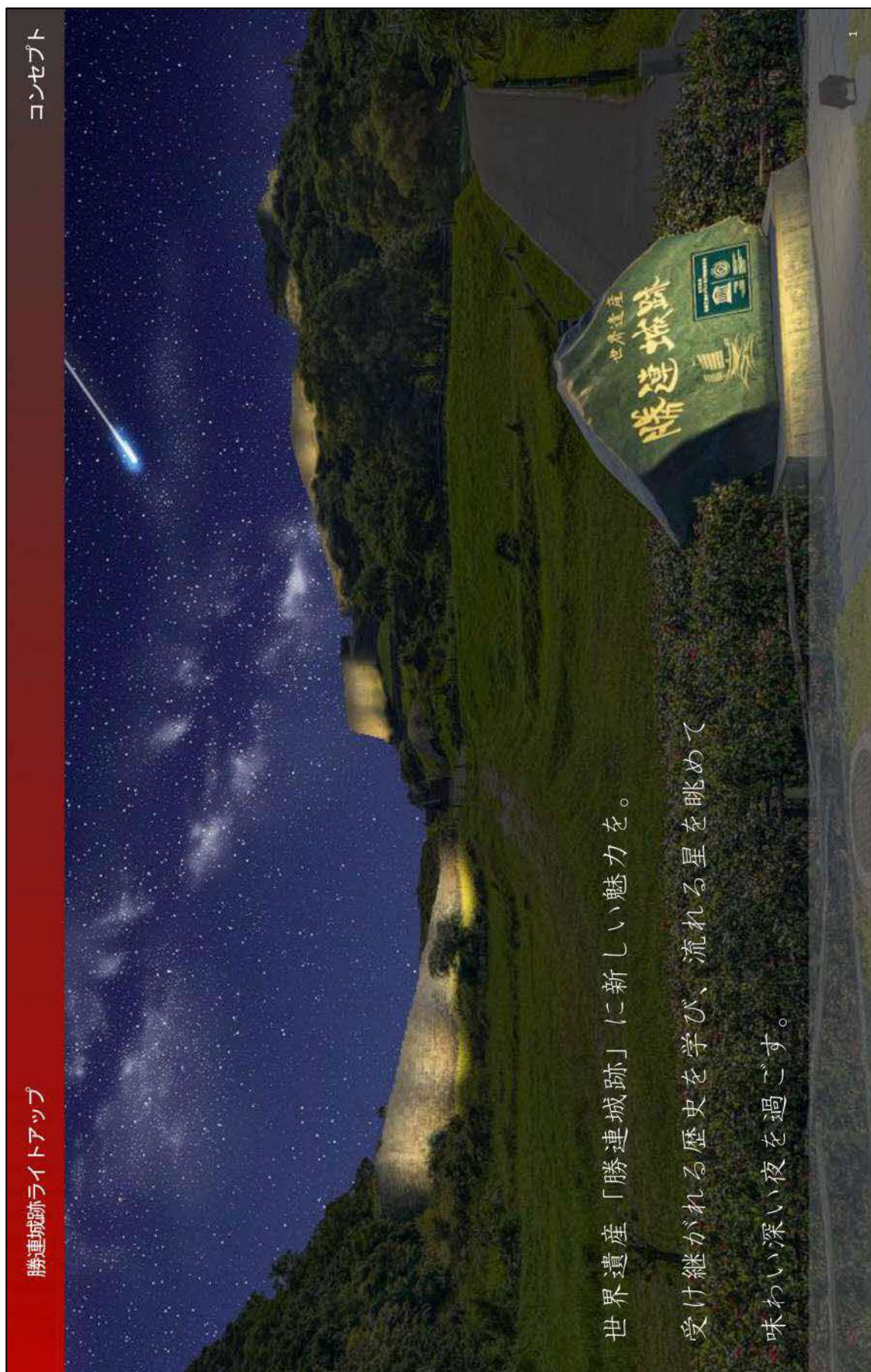
勝連城跡及び周辺エリアでは、今後、公民連携事業によるエリア一帯の整備運営が始まることを踏まえ、ナイトコンテンツ及びイベントは実証的な取組として位置付け、事業を通して得られた情報は、市及び公民連携事業に関わる事業者にはフィードバックする。また、本事業の一環として別途実施される、「勝連城跡活用ガイドライン作成業務」の受託者に対して、適宜、情報提供を行う。

第1章 業務計画書の作成

業務計画書

勝連城跡ライトアップ

コンセプト



世界遺産「勝連城跡」に新しい魅力を。
受け継がれる歴史を学び、流れる星を眺めて
味わい深い夜を過ごす。

勝連城跡入口から見える一の曲輪、二の曲輪、三の曲輪と西原御門の石垣をライトアップし、勝連城の輪郭を夜景に浮かび上がらせます。
また、石碑をライトアップし、世界遺産であることを照明する撮影スポットをつくります。

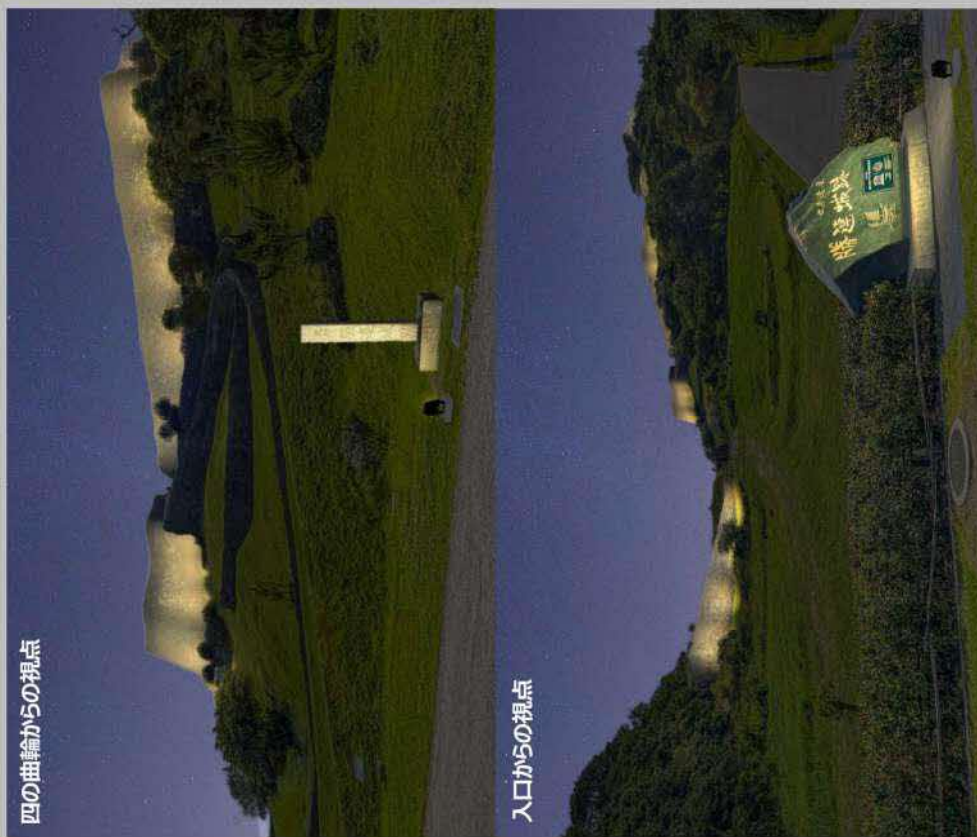
業務計画書

勝連城跡ライトアップ

ライトアップイメージパース

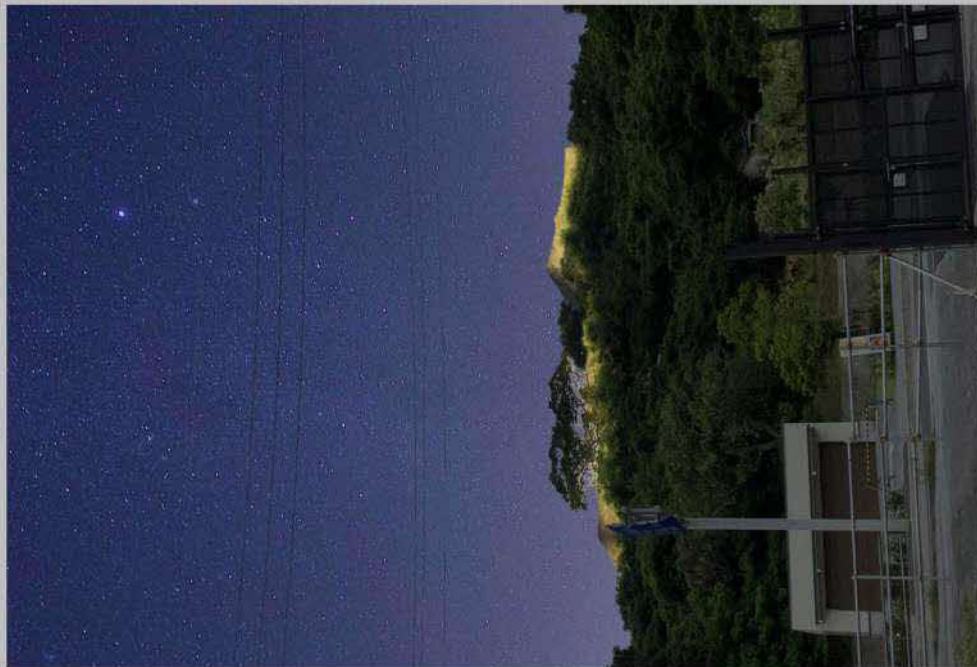
石碑と合わせての撮影スポットをつくる

石碑をライトアップし、世界遺産であり歴史的文化財としての景観であることを証明するための撮影スポットをつくります。



遠方からでも世界遺産の存在を感じる

一の曲輪の側面までライトアップし、存在感を示します。
あまわりパーク駐車場で車を降りて目に入る景色は高揚感を抱かせます。



業務計画書

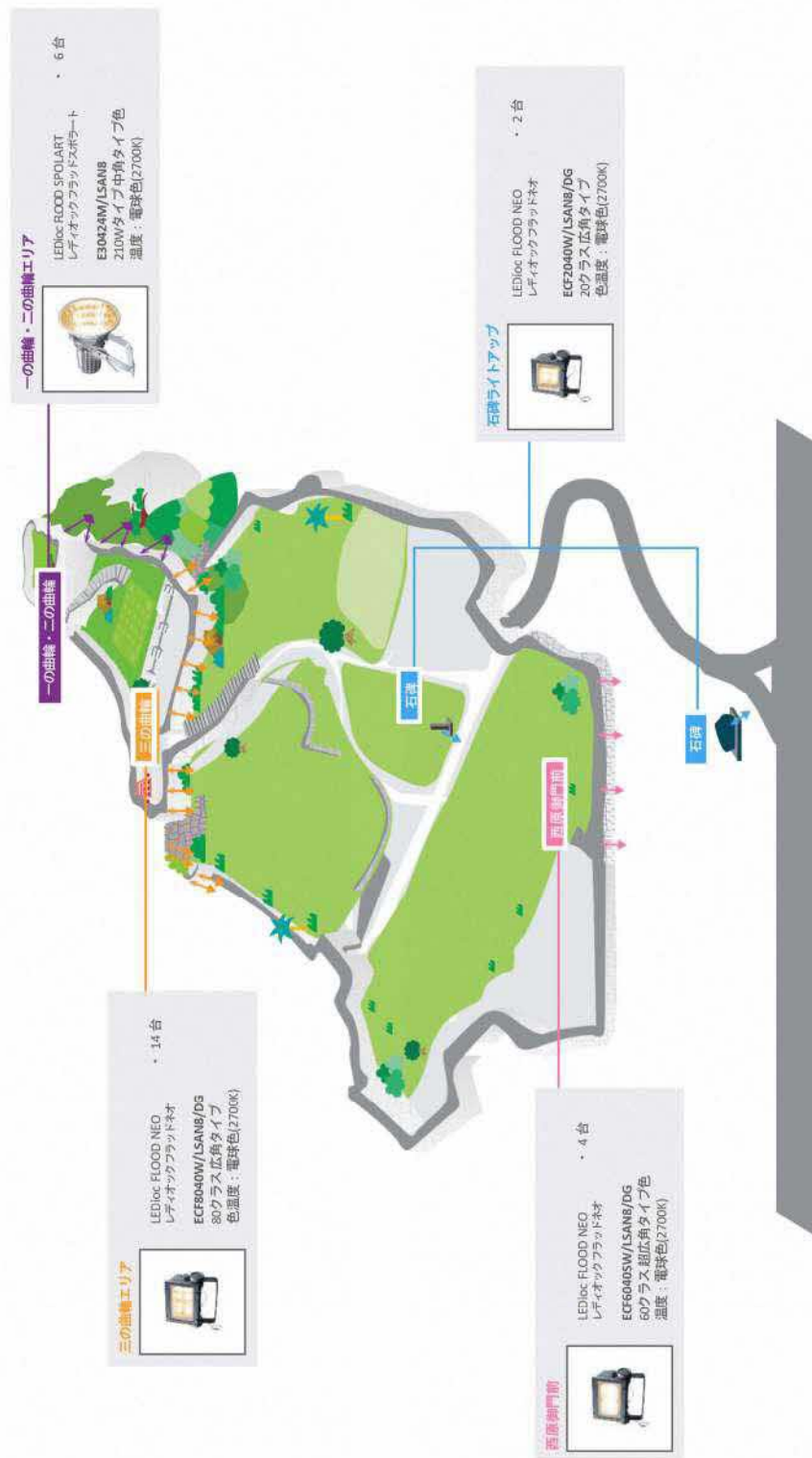
勝連城跡ライトアップ

器具配置

■ 器具配置

電球色の投光器で一の曲輪・二の曲輪・三の曲輪・西原御門の石垣をライトアップします。

小形投光器で2箇所の石碑をライトアップします。



業務計画書

勝連城跡ライトアップ

三の曲輪 西蔵御門前 石段

LEDiOC レディオックフラットネオ

FLOOD NEO 80 クラス、60 クラス、20 クラス



軽量でコンパクトな投光器。
高い器具光束値を実現。

ECF8040W/LSA18/DG
80クラス広角タイプ
色温度：電球色(2700K)
定格光束(器具光束)：5000lm
消費電力：80W (200時間)

ECF6040W/LSA18/DG
60クラス広角タイプ
色温度：電球色(2700K)
定格光束(器具光束)：3000lm
消費電力：60W (200時間)

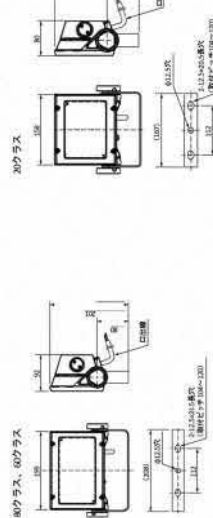
ECF2040W/LSA18/DG
20クラス広角タイプ
色温度：電球色(2700K)
定格光束(器具光束)：2000lm
消費電力：20W (200時間)

●共通仕様
電圧/周波数：100/200～240V対応、50/60Hz共用本体
アルミダイカスト（ポリエステル塗装）
アーム：ステンレス（ポリエステル塗装）
前面カバー：型押強化ガラス（超広角・広角タイプ）
口出機：キャブタイヤケーブル（器具外1500mm）取
付角度：エニーポジション（制限なし）

設計許容風速：60m/sec
耐雷サージ：15kV（コモンモード）
アーム：ステンレス（ポリエステル塗装）
前面カバー：型押強化ガラス（超広角・広角タイプ）
口出機：キャブタイヤケーブル（器具外1500mm）取
付角度：エニーポジション（制限なし）

設計許容風速：60m/sec
耐雷サージ：15kV（コモンモード）
アーム：ステンレス（ポリエステル塗装）
前面カバー：型押強化ガラス（超広角・広角タイプ）
口出機：キャブタイヤケーブル（器具外1500mm）取
付角度：エニーポジション（制限なし）

寸法



※器具本体は2000mm以下、最大1200mm以内の範囲に設置可能。設置場所によっては、設置可能範囲が狭くなる場合があります。設置可能範囲は、設置場所の状況により異なります。

器具光束値

照明器具

一の曲輪・二の曲輪

LEDiOC レディオックフラットネオ

FLOOD SPOLART 210W タイプ



高効率、高出力、長寿命。
全てを備えたLED投光器。

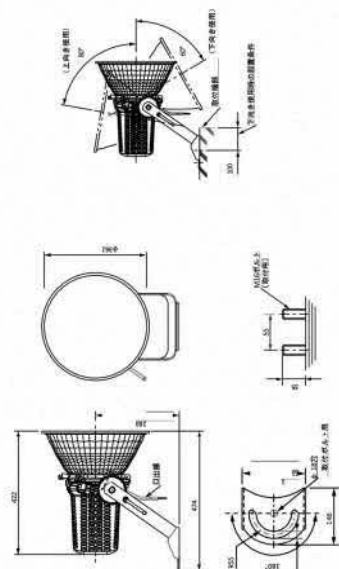
EB0424M/LSA18
80クラス広角タイプ
色温度：電球色(2700K)
定格光束(器具光束)：5000lm
消費電力：201W (200時間)

共通仕様

電圧/周波数：100/200～240V対応、50/60Hz共用前面
カバー：強化ガラス
保護カバー：ポリカーボネート
反射鏡：アルミ（内面シリカガラス処理）
反射器：アルミ、銅（ポリエステル塗装）
支持棒：アルミダイカスト（ポリエステル塗装）
アーム：鋼板（溶接部除く）
口出機：キャブタイヤケーブル（器具外500mm）仕
上：グレイ（マンセルN6）

設計許容風速：60m/sec
耐雷サージ：15kV（コモンモード）
保護等級：IP43
使用温度範囲：-20℃～+35℃
LEDモジュール寿命：60000時間（光束維持率70%）

寸法



第2章

ナイトコンテンツ造成に 向けた検討

第2章 ナイトコンテンツ造成に向けた検討

①コンセプト

『世界遺産「勝連城跡」に新しい魅力を。

受け継がれる歴史を学び 流れる星を眺めて 味わい深い夜を過ごす。』

世界遺産勝連城跡に新しい魅力（ライトアップ）を付与することで、うるま市を代表する文化観光のシンボルとして、地域をはじめ、県内外から再認知してもらう。

夜空に浮かぶ城壁と満天の星空を眺める贅沢な時間を、訪れたすべての人に感じていただく。

入口ゲートからの視点



四の曲輪からの視点



第2章 ナイトコンテンツ造成に向けた検討

②ナイトコンテンツの造成方法

・はじめに

うるま市の滞在型観光を促すためのナイトコンテンツとして、ライトアップ環境を構築する。また、ライトアップされた勝連城跡との相乗効果を図るイベントとして、サウナイベントを開催する。

ナイトコンテンツの造成にあたっては、勝連城跡が国指定史跡であることを考慮し、遺構を傷付けないための対策を講じるとともに、今後の受入環境強化に係る課題等の把握、本設工事の検討に向けた実証的な取組として位置付け、担当課及び文化財課との事前相談・指示の下で行うこととする。

・ナイトコンテンツの造成計画・造成方法

ナイトコンテンツの造成計画・造成方法は、以下の通りとする。

- 本島東海岸の文化観光シンボルとしての美しい夜間景観を創出する。
- 遠景から近景までの眺望景観を確保する。
- 来場者の滞在時間延長や夜間のイベント利用に資する造成計画とする。
- 実証的な取組として位置付け、導入する器具等は撤去可能な仮設対応とする。
- 他のイベントでも活用可能な汎用性のある仕様にする。
- 日中における景観への影響を最小限に抑えた色合いとする。
- 配置計画及び設置方法は、市文化財課の指示の下で実施する。
- 器具等の設置に際しては、来場者の妨げとならないよう必要な対策を講じる。
- 導入後、1年間は検証期間とし、検証期間終了後の取扱いは、市にて判断する。

第2章 ナイトコンテンツ造成に向けた検討

③ イベントの実施方針

・勝連城跡のライトアップを活かす・記憶に残るイベント

世界遺産内での特別な体験だけでなく、サウナの「ととのう」効果を利用し、勝連城跡の景色を脳に焼き付けて最高の思い出となる相乗効果を狙う。



・イベント目的の来訪者を発生させる

空前のサウナブームが到来している中で、キャッチコピー「世界遺産でととのう」を掲げ、日本で初めて開催される世界遺産敷地内でのアウトドアサウナイベントを行い、県内外からイベント来訪者を誘客し、勝連城跡を知る・理解するキッカケを作る。



第2章 ナイトコンテンツ造成に向けた検討

③イベントの実施方針

・うるま市の企業を多数起用する

ナイトコンテンツ造成（環境整備）、イベント出店企業、イベント関連企業にうるま市内事業者へ協力を依頼し、地域一帯となって事業を進める。

・うるま市民、県民の参加を促す取組を実施

夜間の勝連城跡に入城できる機会として、身近な世界遺産に改めて訪れる機会を創出する。本イベントへの参加を促すための割引やキャンペーンを展開する。

また、住民参加型のイベントとして、ゲストが着用する衣装のデザインを地域の子ども達の協力のもと制作する。

料金 大人（16歳～） ¥4,000 小人（～15歳） ¥2,000
※あまわりパーク歴史文化施設・勝連城跡入館料を含む

割引 沖縄県民割 ⇒ 住所の分かる物提示で¥1,000円OFF
 SNS割引 ⇒ アカウントをフォロー
 Xの引用リポスト、Instagramメンション投稿で500円OFF

衣装デザインのイメージ



第2章 ナイトコンテンツ造成に向けた検討

④通常時とイベント時の運用の在り方

・開場時間

通常時は18時まで、イベント時は21時まで開場時間を延長（一般来場者は18時までの来場とし、18時以降はイベント参加者の来場に限定する）。通常は入城できない時間帯にライトアップされた勝連城跡を間近で見ることができる機会として特別感を演出する。なお、18時以降は、追加照明の設置による視認性の確保と、足元が整備されていないエリアの立ち入りを制限することで、来場者の安全を確保する。

・一般来場者との共存

イベントは、勝連城跡の開場時間を含むため、一般の来場者の妨げにならないよう施設管理者側と事前調整した上で、動線・配置計画を決定する。

・景観への配慮

イベント会場は四の曲輪内に限定し、三の曲輪以上にはイベント装飾を施さないことで、四の曲輪からの写真撮影時にイベント装飾が写り込まないように留意する。また、イベント装飾は、景観に溶け込むデザインにする。

・ライトアップの点灯方法

通常時はタイマー設定による自動点灯、イベント時は任意の時間に点灯可能な手動点灯の2通りの方法を採用する。

第3章

ナイトコンテンツ造成に 向けた環境整備



第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

①器具の選定

夜間における勝連城跡の魅力を最大限高めるため、曲線を描く城壁の陰影と荘厳な雰囲気表現できる電球色を採用する。また、導入後の維持管理費を極力抑えるため、LED照明を採用する。

<三の曲輪、西原御門前、石碑>

LEDiOC レディオックフラッドネオ FLOOD NEO 80クラス, 60クラス, 20クラス

軽量でコンパクトな投光器。
高い器具光束値を実現。

ECF8040W/LSAN8/DG
80クラス広角タイプ
色温度：電球色(2700K)
定格光束(器具光束)：9500lm消費
電力：86.5W (200V時)

ECF6040SW/LSAN8/DG
60クラス広角タイプ
色温度：電球色(2700K)
定格光束(器具光束)：7100lm消費
電力：61.5W (200V時)

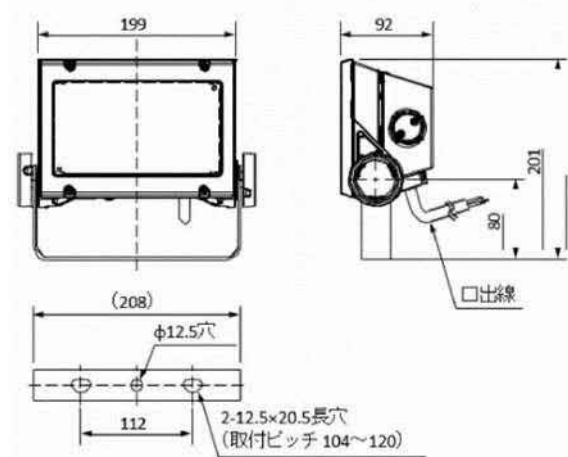
ECF2040W/LSAN8/DG
20クラス広角タイプ
色温度：電球色(2700K)
定格光束(器具光束)：2700lm消費
電力：26.2W (200V時)

●共通仕様

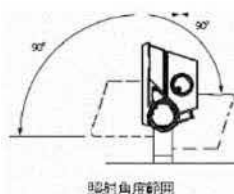
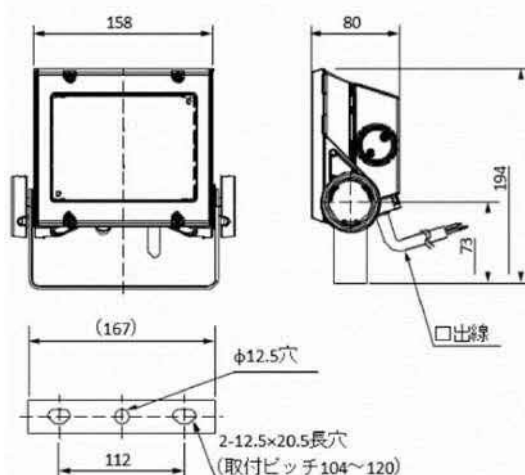
電圧/周波数：100/200～242V対応/50/60Hz共用
本体：アルミダイカスト（ポリエステル塗装）
アーム：ステンレス（ポリエステル塗装）
前面カバー：型押強化ガラス（超広角・広角タイプ）
口出線：キャプタイヤケーブル（器具外1500mm）
取付角度：エニーポジション（制限なし）
設計許容風速：60m/sec仕上色：ダークグレイ
耐雷サージ：15kV（コモンモード）
保護等級：IP65 使用温度範囲：-20℃～+35℃LED
モジュール寿命：60000時間（光束維持率 80%）

●寸法

80クラス、60クラス



20クラス



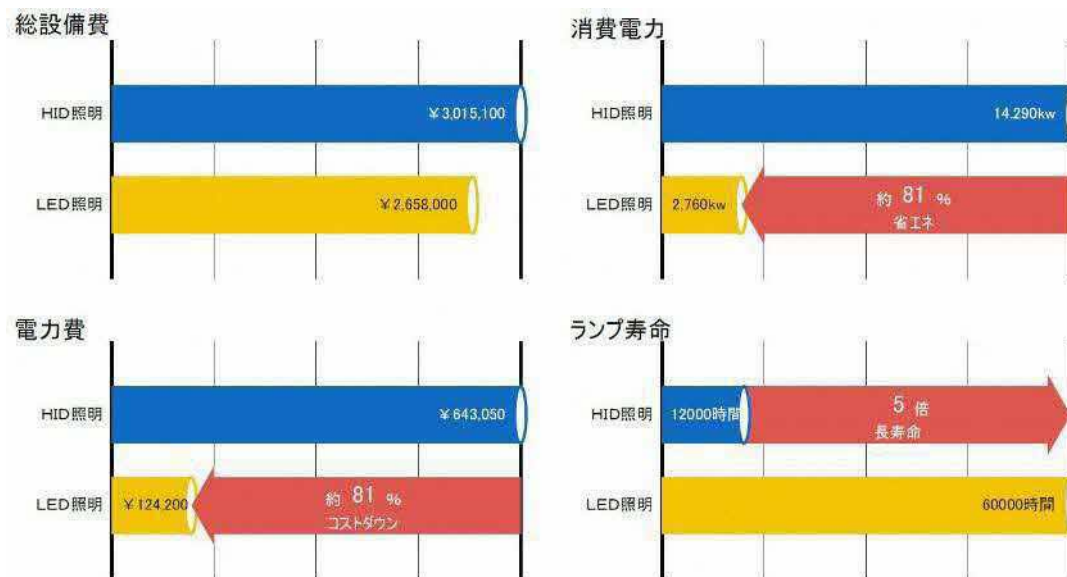
※本体取付方向制限はありません。（エニーポジション構造）が、設置条件により左図のように、構造物と干渉します。
※器具を選定後に取り付ける際は、被照面との距離を10cm以上確保して設置してください。
※器具の本体が熱放散フィンが構造が異なるよう設置してください。

第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

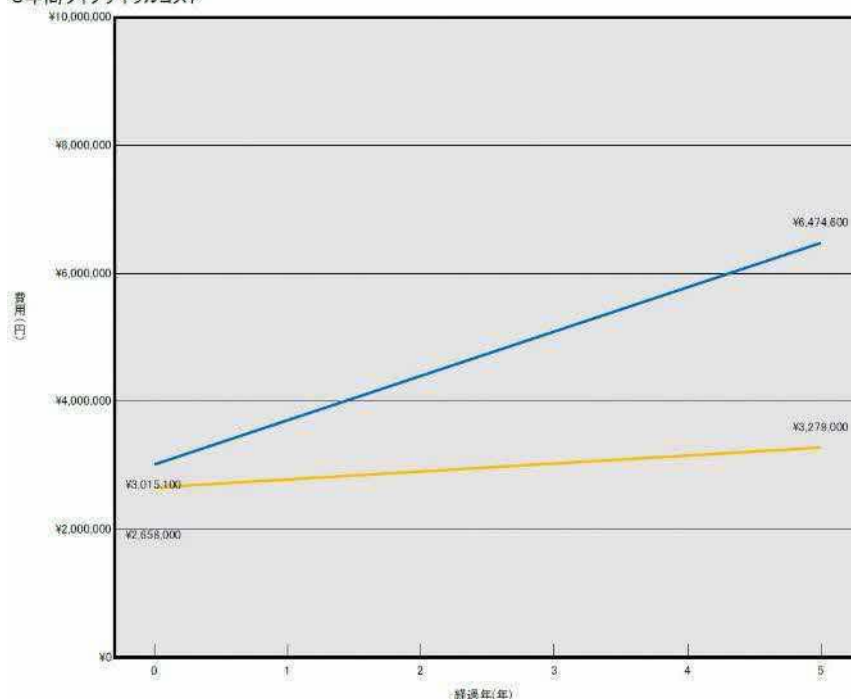
①器具の選定

名称	型式	図番	数量
LED投光器（クラス20広角）	ECF2040W/L/32-50L-HT/J	LLPD16622	2
LED投光器（クラス60超広角）	ECF6040SW/L/32-50L-HT/J	LLPD16623	4
LED投光器（クラス80広角）	ECF8040N/L/32-50L-HT/J	LLPD16624	1 4
スポラート210w（中角電球色）灯具	E30424N/L/32-50L-HT/J	LLPD16625	6
屋外用LED照明器具用電源装置	LE180150HS1/2.4-B1	LLPD01384-4	6

HID照明と比較したLED照明の維持管理費（目安）は、以下の通り。



5年間ライフサイクルコスト



第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

②運用イメージ及び配置計画

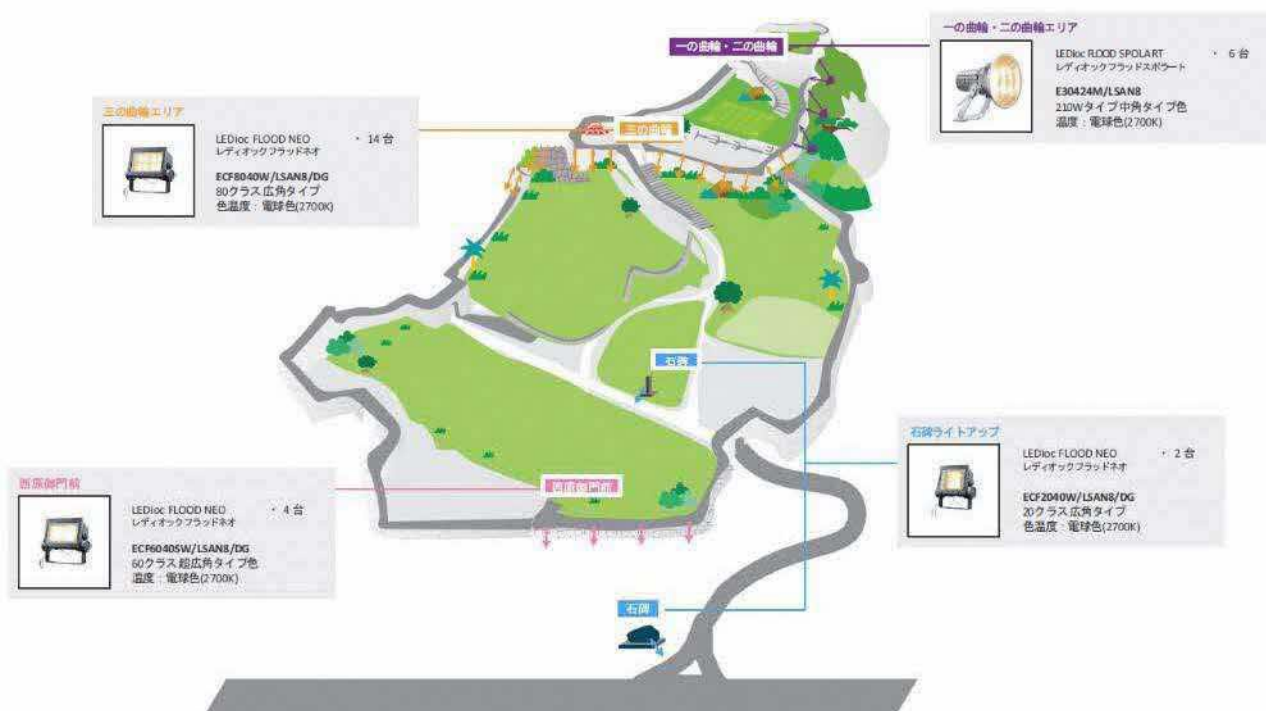
・運用イメージ

本事業で実施するイベントのみならず、他のイベントでも利用可能な汎用性のある仕様にする。なお、現状変更及び史跡の保存に影響を及ぼす行為は、文化庁の許可を必要とするため、市文化財課との事前調整を前提に、照明器具及び配線は仮設対応とする。通常時はタイマー設定による自動点灯、イベント時は手動点灯という形で、2通りの運用を可能にする。

・配置計画

イベントの利用頻度が高い四の曲輪及び県道側からの景観を確保するため、四の曲輪及び三の曲輪の城壁を中心に照明器具を配置する。また、シンボルマークとなる2つの石碑（入口ゲート付近、四の曲輪内）を照らすための小型投光器を配置する。

周辺環境との調和を図りつつ、遠景から近景までの眺望景観を確保可能な配置計画とする。



近景からの視点

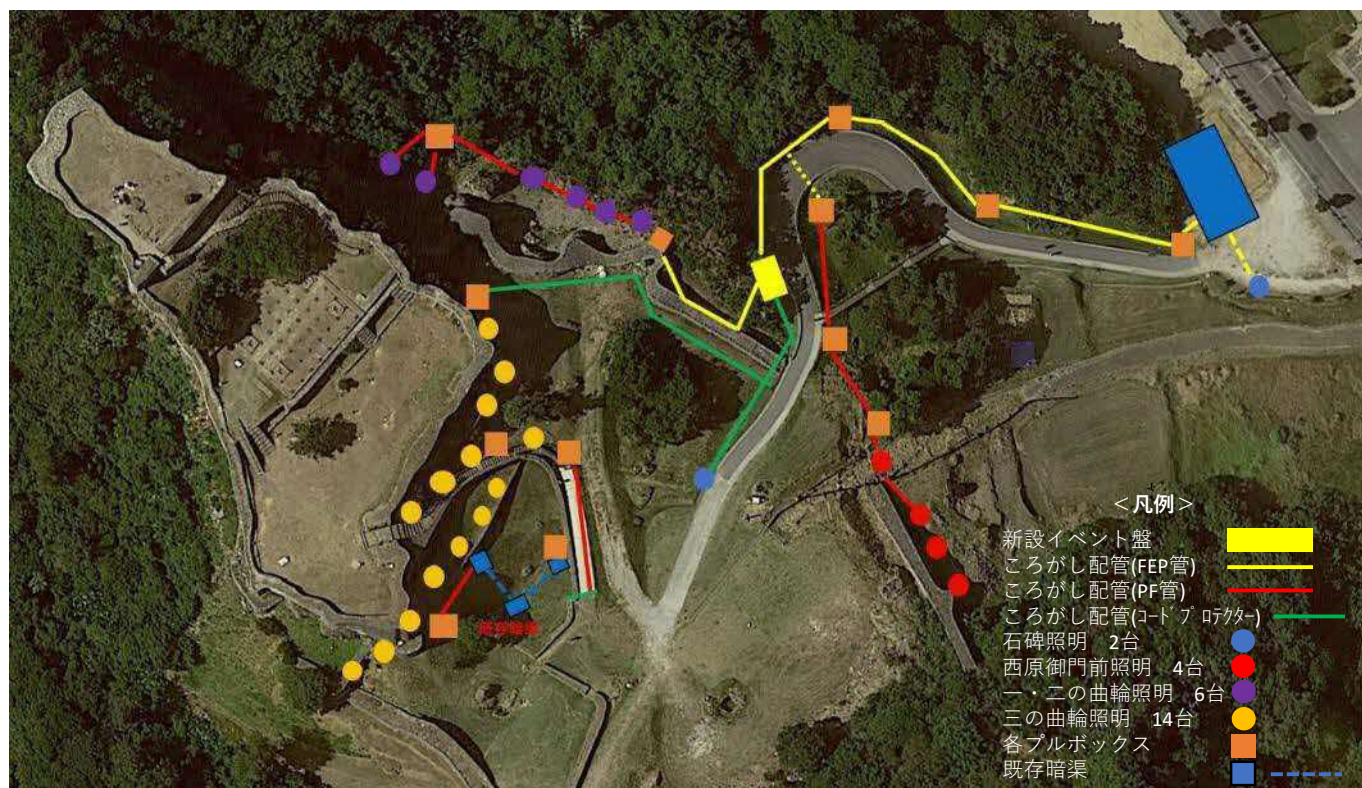


遠景からの視点

第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

②運用イメージ及び配置計画

・各器具の配置図



<環境整備概要>

引込開閉器盤（ブレーカー容量変更）MCCB100/100

既存建物（入口ゲート）L-1（分電盤）改造（端子台追加）

既存建物（入口ゲート） 新設L-2（分電盤）設置～新設イベント盤への電源供給

新設イベント盤設置（指定色塗装）～各照明器具への電源供給

<盤内詳細>

No.1回路 石碑照明（2台） 指定色塗装（5BG3/6）

No.2回路 西原御門前照明（4台） 指定色塗装（5BG3/6）

No.3回路 一・二の曲輪エリア照明（6台） 指定色塗装（5BG3/6）

No.4回路 三の曲輪エリア照明（14台） 指定色塗装（5BG3/6）

No.5回路 コンセント電源（30A）

No.6回路 コンセント電源（20A）

No.7回路 将来用BL100V（20A）

No.8回路 将来用BL200V（20A）

※イベント盤内にタイマー設置し、点灯時間を設定。

<施工方法>

①配管は、ころがし配管とする。

②照明器具・イベント盤・プルボックスは、置き基礎を設置して固定する。

③一・二の曲輪エリア照明（6台）は、城壁下設置とする。

④西原御門前照明（4台）は、1台階段横城壁、3台西原御門前城壁へ設置する。

※入口ゲート付近の石碑照明（1台）は、標準色とする。

※既存ハンドホール経由・既存配管を利用して入線を行う。

第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

③設置方法の検討

勝連城跡のナイトコンテンツ造成（環境整備）は、イベント開催との相乗効果を図るとともに、本格的な環境整備を見据えた現状課題の把握、整備方針検討のための実証的取組として位置付け、導入する器具は仮設対応とし、必要に応じて撤去可能な方法を採用した。

うるま市文化財課及びプロジェクト推進2課との事前調整の結果、城内に配置する器具等は、以下の方法で設置することとした。また、世界遺産の景観を損ねることのないよう、文化財課の指示の下、照明器具の塗装を実施した。

<設置方法>

- ・遺構を傷付けることのないよう、ゴム板緩衝材や置き基礎にて対応。
- ・配管は地上ころがしとする。

<照明器具の塗装>

- ・照明器具の配置場所によって、自然に調和する“緑色”と琉球石灰岩に調和する“灰色”の塗り分けを実施。

第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

④整備（照明器具等の導入）

石碑照明	型式	図番	数量
LED投光器（クラス20広角）	ECF2040W/L/32-50L-HT/J	LLPD16622	2



西原御門前照明	型式	図番	数量
LED投光器（クラス60超広角）	ECF6040SW/L/32-50L-HT/J	LLPD16623	4



一の曲輪・二の曲輪照明	型式	図番	数量
スポット210w（中角電球色）灯具	E30424N/L/32-50L-HT/J	LLPD16625	6



名称	型式	図番	数量
LED投光器（クラス80広角）	ECF8040N/L/32-50L-HT/J	LLPD16624	1 4



第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

④整備（設置状況）

石碑照明	型式	図番	数量
LED投光器（クラス20広角）	ECF2040W/L/32-50L-HT/J	LLPD16622	2



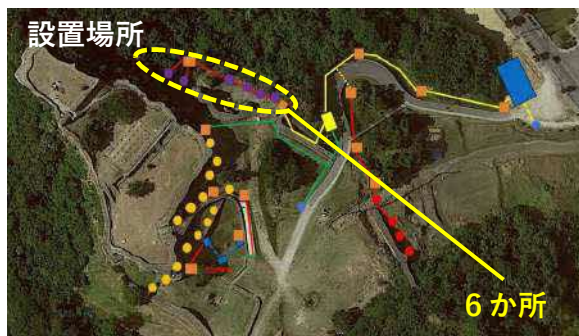
西原御門前照明	型式	図番	数量
LED投光器（クラス60超広角）	ECF6040SW/L/32-50L-HT/J	LLPD16623	4



第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

④整備（設置状況）

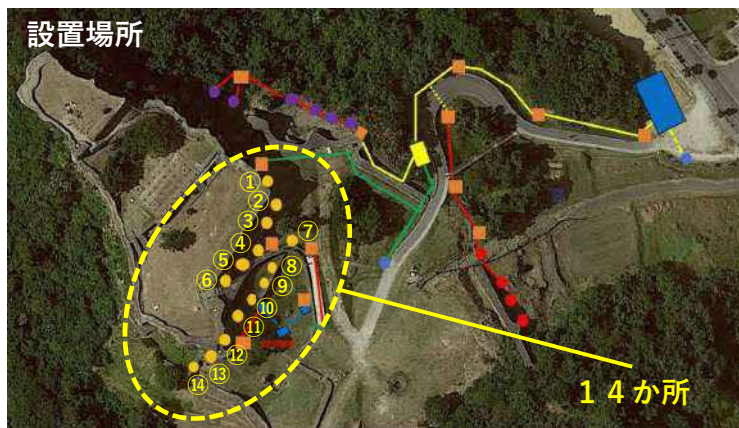
一の曲輪・二の曲輪照明	型式	図番	数量
スポット210w（中角電球色）灯具	E30424N/L/32-50L-HT/J	LLPD16625	6



第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

④整備（設置状況）

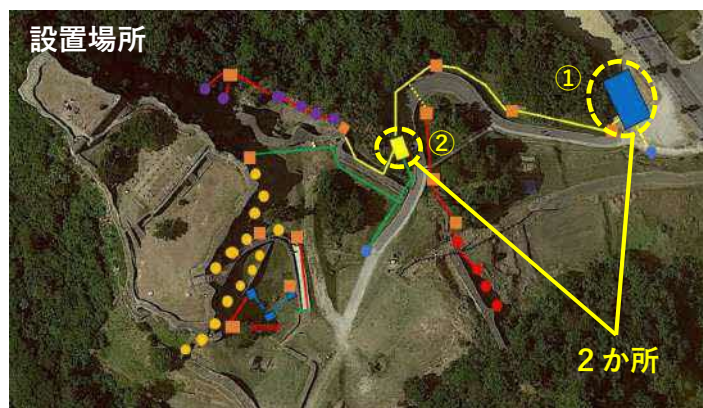
名称	型式	図番	数量
LED投光器（クラス80広角）	ECF8040N/L/32-50L-HT/J	LLPD16624	14



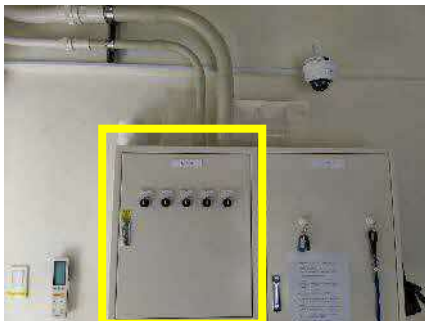
第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

④整備（設置状況）

番号	名称	数量
①	分電盤	1
②	イベント盤	1



①分電盤



②イベント盤



第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

④整備（配慮事項）

- ・地下遺構への影響が生じないように、照明器具は、コンクリートブロックによる置き基礎とした（掘削を伴わない）。また、地面と接する部分は、ゴム板緩衝材を敷くことで、遺構への影響を最小限に留める措置を行った。
- ・イベント盤は、土のうの上にゴム板緩衝材を敷き、その上に置き基礎を設置した。
- ・電気配線は、地上ころがしとした。
- ・景観への影響を考慮し、配置場所によって自然に調和する緑色と石垣に調和する灰色に塗分けを行った。

上記は、市文化財課の指示に基づき実施した。

・置き基礎及びゴム板緩衝の写真



・イベント盤配置前の作業写真



・照明器具の塗装状況



第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

⑤ナイトコンテンツ造成後の状況

